

奥伊吹国有林におけるシカの捕獲について

1 概要

森林におけるニホンジカの被害については、その個体数の増加により、植栽木や立木への被害はもとより、下層植生の消失による土砂流出など、近年、極めて深刻な状況にある。これに対応して、ニホンジカによる森林被害を軽減するため、滋賀森林管理署と米原市が連携して、囲いわなによるシカの捕獲を開始しました。

2 事業内容

(1) 囲いわなによる捕獲

昨年、誘引状況調査を行って選定した、わな設置地点を基本に、より誘引効果が高まるよう一部の設置箇所をニホンジカの隠れやすい林内に変更して、囲いわな(4m×4m)3基を設置しました。わなの内部及びその周囲に誘引餌(ヘイキューブ(注1))を配置してニホンジカを誘引し捕獲します。なお、囲いわなのゲート部分にはAIゲート(注2)を設置します。囲いわな設置後は原則、毎日給餌・見回りを行うとともに、囲いわなの付近に、自動撮影カメラを設置し、誘引状況を撮影・記録します。捕獲したニホンジカは、殺処分後、現地で解体し、梱包し搬出します。

誘引状況調査イメージ



(2) 囲いわなの設置

捕獲後、ニホンジカの警戒が強く誘引が困難な場合は、わなを他の場所へ移設します。



(注1) 乳牛の飼料となる牧草を乾燥させたもの
(注2) ゲートを通るニホンジカの数を実時間でカウントし、毎日のカウント数に基づいて捕獲数を最大化できるプログラムを搭載している。

AIゲートを使用したニホンジカ捕獲状況 (28年度)

3 事業実施箇所

滋賀県米原市甲津原 奥伊吹スキー場ゲレンデ

【問い合わせ先】

林野庁近畿中国森林管理局

滋賀森林管理署

担当者: 秋本

電話: 050-3160-6115 FAX: 077-544-3867